

The Hashira System®

強力型角型間仕切下地材

倉庫業法 2500N/m²仕様

H=8400 mm @227.5 mm 試験体載荷荷重

ボード面積	8.4 m	×	0.8 m	=	6.72 m ²
① ボード自重	6.72 m ²	×	40.7 kg/m ²	=	273.5 kg
負担面積	8.4 m	×	0.6825 m	=	5.733 m ²
② 荷重総重量シャオン(遮音)シート	9.25 kg/枚	×	129 枚	=	1193.3 kg
	②(1193.3kg)+①(273.5kg)		=	1466.8 kg	
	$\frac{1466.754}{5.733}$		=	255.84 kg/m ²	
	255.84 kg/m ² × 9.8		=	2507.3 N/m ²	
			=	2507.3N/m² > 2500N/m²	

※荷重重量には、スタッド、振れ止めの自重は含んでおりません。

H=8400 mm @227.5 mm試験体



試験前



試験後



載荷なし

載荷時

試験結果

H=8400 mm @227.5 mm

	載荷なし	載荷時
たわみ量 (mm)	0	250
上面高さ (mm)	950	700

※上面高さ：床からボード上面までの高さ

H=8200 mm @303 mm試験体(2回目載荷後)の時間経過によるたわみ量変化

	載荷なし	載荷時	10分経過	15分経過	20分経過	30分経過	40分経過	45分経過
たわみ量 (mm)	0	405	410	412	415	417	417	417
上面高さ (mm)	950	545	540	538	535	533	533	533

載荷後のたわみ量の変化を測定する為、一度、載荷試験をした H=8200@303 試験体に再度 2500N/m² 載荷。載荷から 30 分まではたわみが進行したが、それ以降は変化なく、たわみ進行が終息したと考えられた。

総評

以上の通り、弊社強力型角型間仕切下地材 倉庫業法仕様の構成部材は、2500N/m² 荷重試験において重大な損傷、変形、脱落は起こりませんでした。これにより弊社強力型角型間仕切下地材 倉庫業法仕様は倉庫業法(則第3条の4第2項第2号)に規定されている荷重 2500N/m²以上に耐えられる強度を有する事を確認しました。

株式会社 佐藤型鋼製作所
 【監修】近畿大学工学部 建築学科
 准教授 松本 慎也
 以上

株式会社 佐藤型鋼製作所

URL <http://www.satock.co.jp>



【本社】
 〒733-0802 広島県西区三滝本町2丁目24-24
 TEL.082-237-1962(代) FAX.082-237-4703

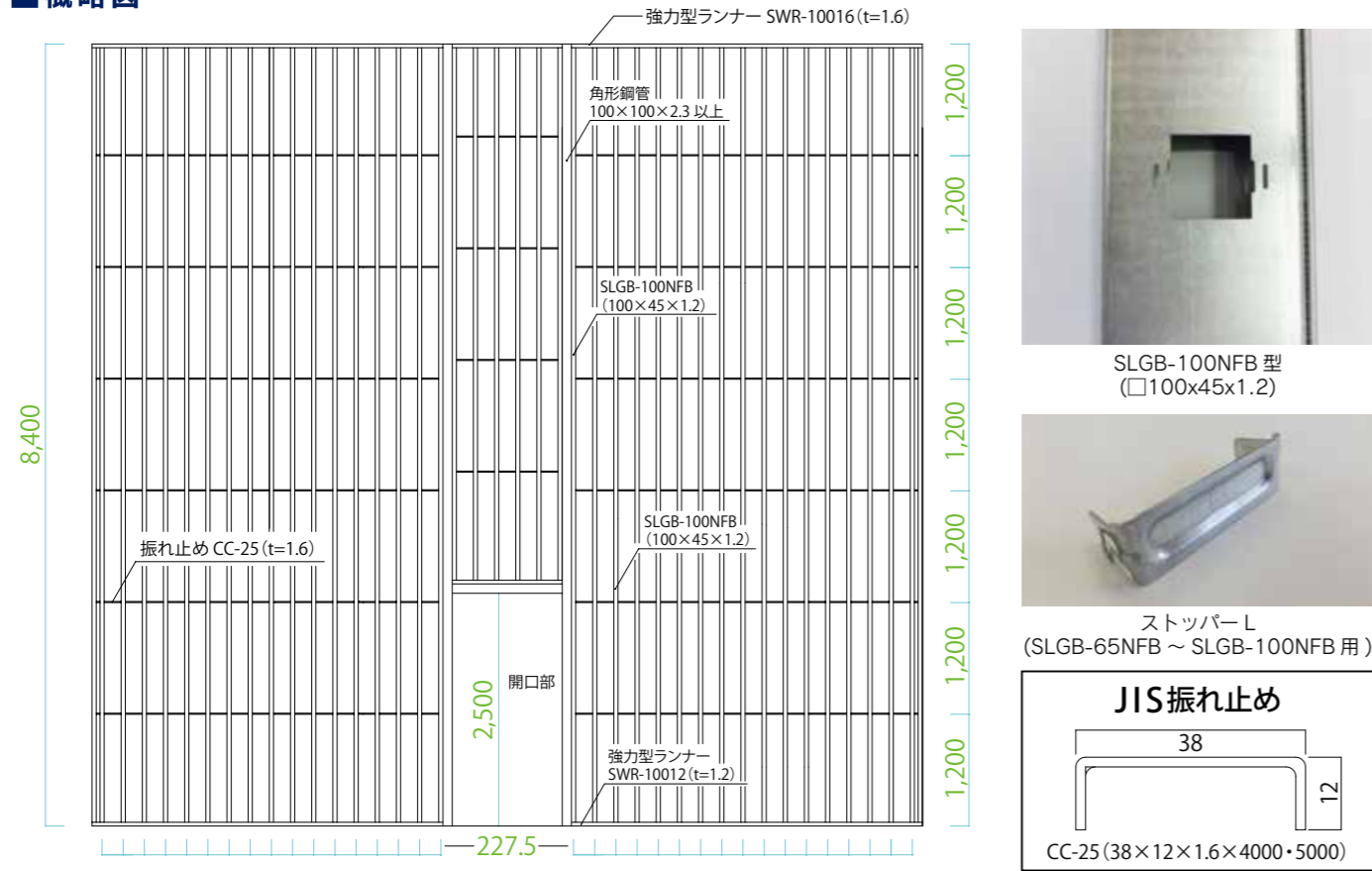
【東京営業所】
 〒299-0107 千葉県市原市姉崎海岸38
 TEL.0436-60-7661(代) FAX.0436-60-7672

【吉田工場】
 〒731-0524 広島県安芸高田市吉田町川本180
 TEL.0826-43-1346(代) FAX.0826-43-1876
 ※JIS A6517 日本工業規格認証取得工場 TCO616001

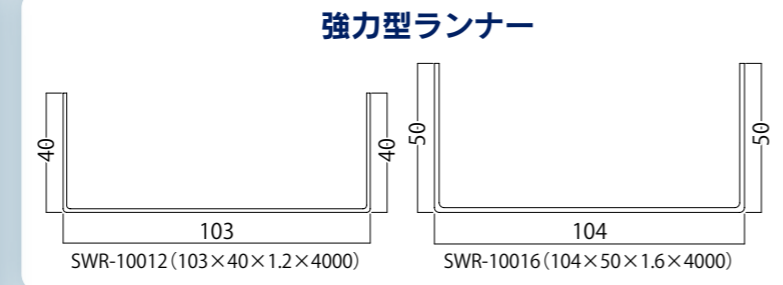
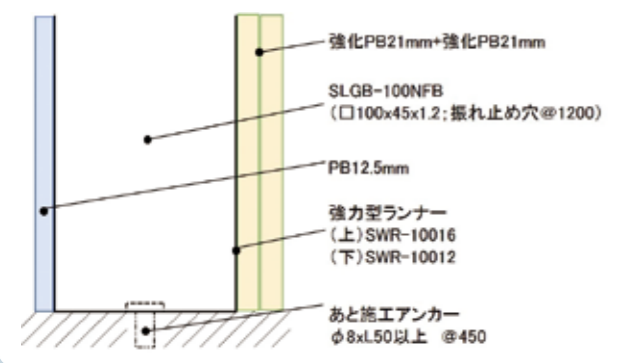
【関東工場】
 〒299-0107 千葉県市原市姉崎海岸38
 TEL.0436-60-7661(代) FAX.0436-60-7672

【広島流通センター】
 〒731-0523 広島県安芸高田市吉田町山手713-1
 TEL.0826-43-1346(代) FAX.0826-43-1876

概略図



断面図



- 特長**
- 1. スタッドが同じ板厚なので施工スピードが早い。
 - 2. スタッドが同じ板厚なのでボードを留めるタッピングねじが1種類で済む。
 - 3. ALC 壁に比べ施工精度が良い。

仕様

	高さ	名称・記号	間隔	振れ止め	ボード	共通
1	h=8200	SLGB100-82NFB (□100×45×1.2×8200)	@303	CC-25 (t=1.6)	TBZ21片面二重貼り (Sウォール)	ランナー 上: SWR-10016 (t=1.6) 下: SWR-10012 (t=1.2)
2	h=8400	SLGB100-84NFB (□100×45×1.2×8400)	@227.5	@1200	+PB12.5 (片面)	ドリリングタッピングネジ; SJ32 3.5x32 (ヤマヒロ)

1 試験目的

本試験により、株式会社佐藤鋼製作所の強力型角型間仕切下地材 倉庫業法 2500N/㎡仕様が、倉庫業法(則第3条の4第2項第2号)で定められた2500N/㎡の荷重に対し耐えられる強度を有しているかを試験により確認する。

2 試験方法

試験体を水平な状態に設置し、壁面上部に2500N/㎡相当の錘を載せ、重力により下方向へ荷重する。加力に使用する錘は、遮音シート455mm×910mm(9.25kg/枚)を使用する。

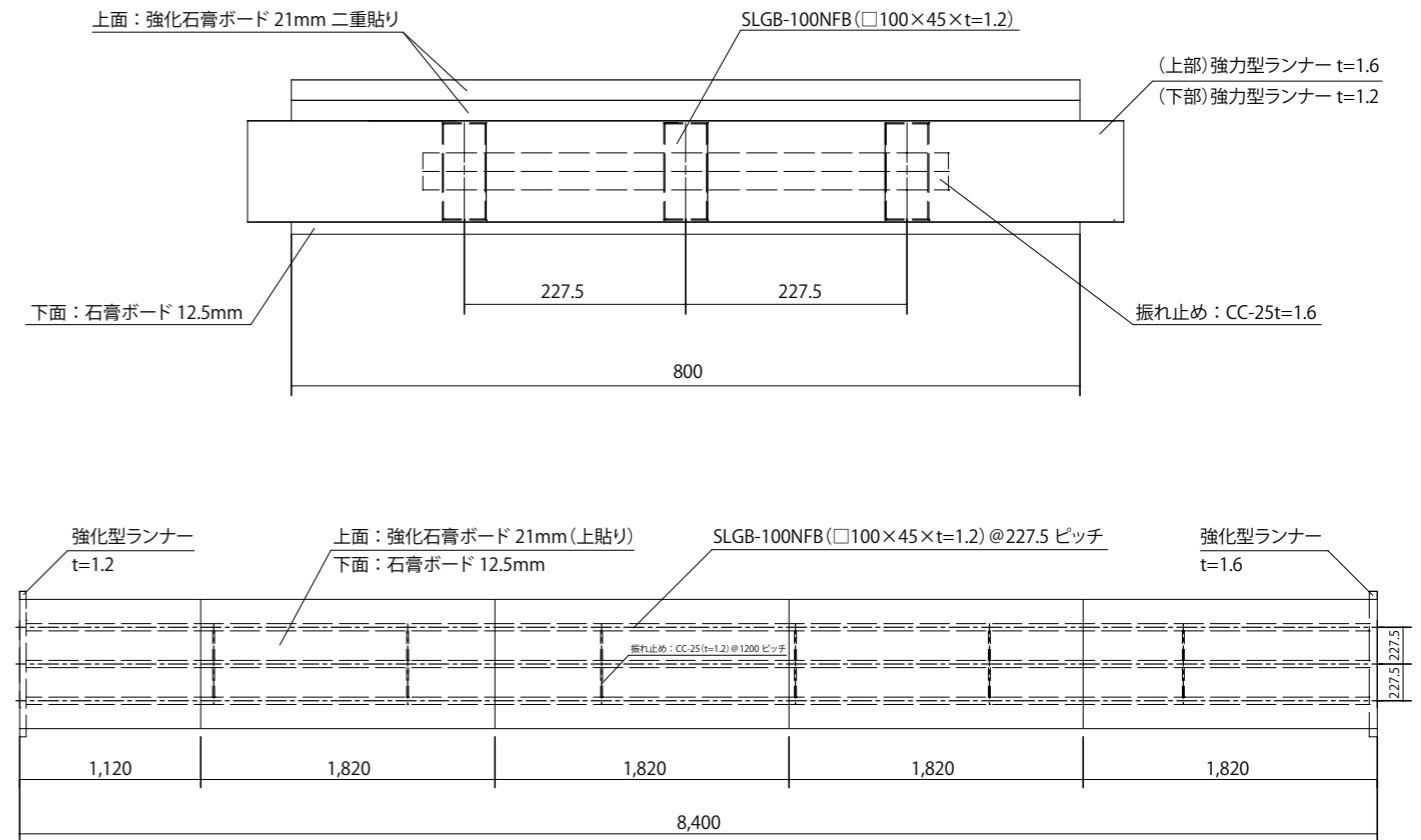
試験体をフォークリフトで支え架台設置後、遮音シート載荷状態にてフォークリフトを下降する荷重試験

部材重量

試験日 平成28年9月29日

仕上材	単位重量	鋼製下地材	単位重量
強化石膏ボード 21mm片面2重貼り	32.8kg/㎡	スタッド: SLGB-100NFB(t=1.2)	2.91kg/m
石膏ボード 12.5mm片面	7.9kg/㎡		

試験体割付図



試験体載荷試験図

